

# SIDR

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

平成25年(2013年) 第 18 週

(4月29日～5月5日)

発行年月日:平成25年(2013年)5月9日

発行 滋賀県感染症情報センター

滋賀県衛生科学センター 健康科学情報担当

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

e-mail: ef4505@pref.shiga.lg.jp

- ◆ 風しんの患者報告が増えています(第10週以降毎週報告されています)
- ◆ 腸管出血性大腸菌(O157)感染症の患者報告がありました

#### ★全数報告感染症の発生状況

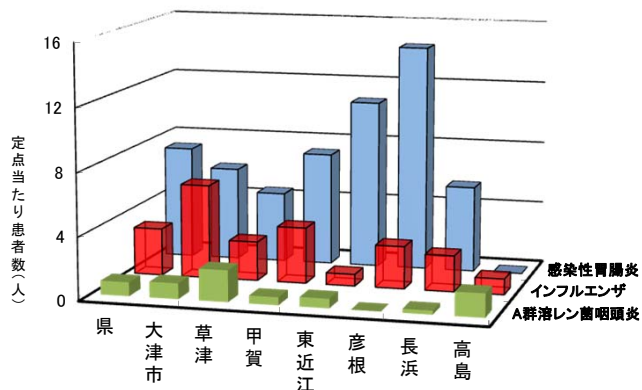
- ・一類感染症---- 報告はありません
- ・二類感染症---- 結核 2名 (肺結核2名)
- ・三類感染症---- 腸管出血性大腸菌感染症 1名 (O157:VT1,VT2)
- ・四類感染症---- 報告はありません
- ・五類感染症---- 風しん4名 (25～30歳・男性 1名、30～34歳・男性 1名、40～44歳・男性2名)

#### ★定点把握の対象となる五類感染症の発生状況

- ・ 定点患者報告総数は、今週は483名でした(先週:632名)。
- ・ 連休の間、多くの医療機関が休診となったことから、全体に患者報告数が少なくなっていると考えられます。
- ・ インフルエンザ入院サーベイランスは、2名の届出がありました。年齢別・性別は、10歳未満・女性が1名および80歳以上・女性が1名でした。



#### 上位疾病の保健所管内別発生状況 (第18週)



県全体における上位疾病の発生状況は、  
 ①感染性胃腸炎 ②インフルエンザ ③A群溶レン菌咽頭炎 です。  
 上位の3疾病の患者報告数は県全体で先週より少なくなっています。  
 感染性胃腸炎 ----- ほとんどの保健所管内で先週より減少しています。  
 インフルエンザ ----- 大津市保健所管内では、今週の定点当たりの患者数は、6.00人で先週(4.55人)より増加しています。

## 1. 全数報告感染症の週別および累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。これらの届出のあった報告症例を診断週毎に集計しています。期日以降に届出がある場合もあり、再集計し、掲載しています。主な疾病を対象に各週の報告数および累積報告数を下の表に示しています。

分類	疾病名	滋賀県				全国	平成24年累計※	
		16週	17週	18週	累計	累計	県	全国
		4/15～	4/22～	4/29～	～5/5	～5/5		
二類	結核	13	2	2	96	8,209	254	28,951
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	40	0	241
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	1	2	245	37	3,765
四類	パラチフス	0	0	0	0	23	0	24
	E型肝炎	0	0	0	0	48	0	119
	A型肝炎	0	0	0	0	58	1	158
	オウム病	0	0	0	0	4	0	8
	つつが虫病	0	0	0	0	43	1	436
	デング熱	0	0	0	0	49	2	221
	マラリア	0	0	0	0	15	2	73
	レジオネラ症	0	0	0	1	218	10	898
	五類	アメーバ赤痢	0	0	0	1	330	13
ウイルス性肝炎		0	0	0	0	80	4	235
急性脳炎		0	1	0	3	152	3	361
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	1	58	2	183
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	0	0	0	69	3	243
後天性免疫不全症候群		0	0	0	7	453	9	1,427
ジアルジア症		0	0	0	0	26	1	72
侵襲性肺炎球菌感染症※※		0	0	0	2	130	—	—
梅毒		0	0	0	1	340	1	891
破傷風		0	0	0	0	133	0	117
風しん		5	2	4	29	5,964	12	2,391
麻しん		0	0	0	0	119	1	285

※：感染症発生動向調査事業年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成25年3月現在）  
 ※※：平成25年4月1日から対象感染症として追加された感染症

## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の保健所管内定点当たり報告数

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）と呼びます。その定点から週単位で一カ所の定点から何人の患者が報告されているか（定点当たり報告数）を、下の表に示しています。（定点当たり報告数＝患者報告数/定点医療機関数）

定点区分	疾病名	滋賀県		保健所別（18週 4/29～5/5）						
		17週	18週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	インフルエンザ	3.43	3.02	6.00	2.50	3.57	0.75	2.71	2.29	1.00
小児科	RSウイルス感染症	0.09	0	0	0	0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱（プール熱）	0.56	0.28	0.29	0.67	0	0.20	0	0	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.56	0.88	1.00	2.00	0.50	0.60	0	0.25	1.50
	感染性胃腸炎	9.53	7.25	6.00	4.50	7.25	10.80	14.50	5.50	0
	水痘	0.91	0.84	1.86	1.00	1.00	0.20	0.50	0.25	0
	手足口病	0.53	0.19	0.29	0	0	0	0.25	0.75	0
	伝染性紅斑（リンゴ病）	0.03	0.09	0.14	0.33	0	0	0	0	0
	突発性発しん	0.28	0.34	0.43	0.17	0.75	0.40	0.25	0.25	0
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	0.19	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.16	0.06	0.14	0	0	0.20	0	0	0
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0.25	0.25	1.00	0	0	0	0	0	0
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0.14	0.29	0	0	1.00	1.00	0	0	0
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ（入院）※	0.29	0.29	1.00	0	0	0	0	1.00	0

\*：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数（定点当たり報告数）を掲載

赤・太字 は警報発生基準値（開始基準値または終息基準値）を超えています  
 青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

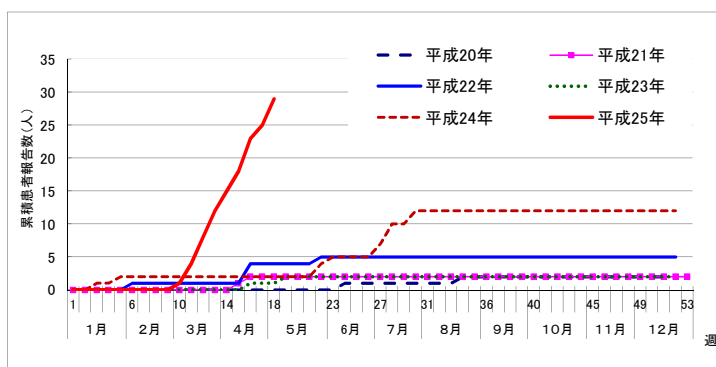
### 3. その他

#### (1) 風しんの発生状況

- 滋賀県では第10週(3月4日～)から風しんが報告されています。
- 第18週は大津保健所管内での患者報告数が多くなっています。
- 平成25年第1週から第18週までの累積患者数は29名となり、過去5年間で年間の累積患者数が多かった2011年の12名の2倍を超えた患者数となっています。
- 性別では、男性が8割を超えています。
- 滋賀県でのワクチン接種歴があったのは、患者2名(診断2週間前に接種した1名を含む)で、27名は不明または接種歴がありませんでした。

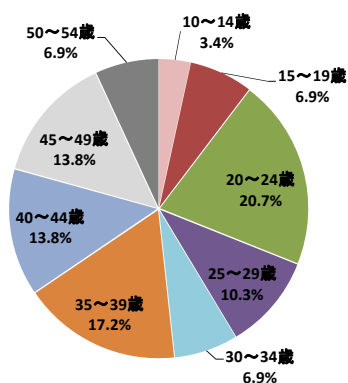
#### ① 風しんの年次別累積報告数(滋賀県)

(平成20年第1週～平成25年第18週、2007.12.31～2013.5.5)

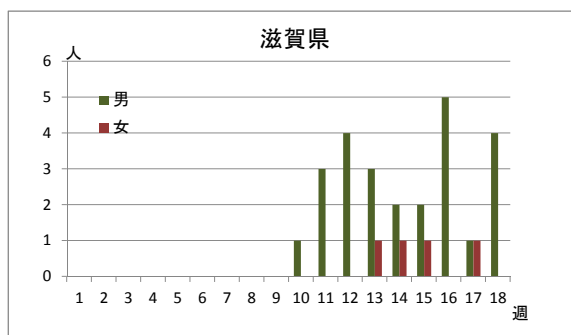
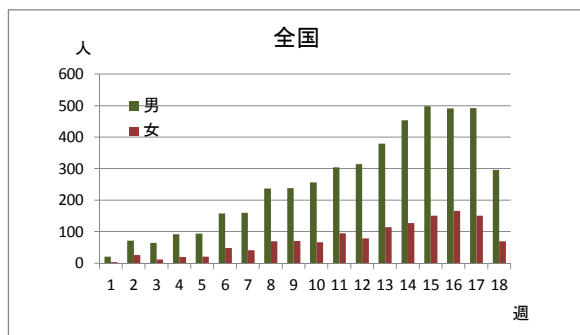


#### ② 年齢階級別の患者割合(滋賀県)

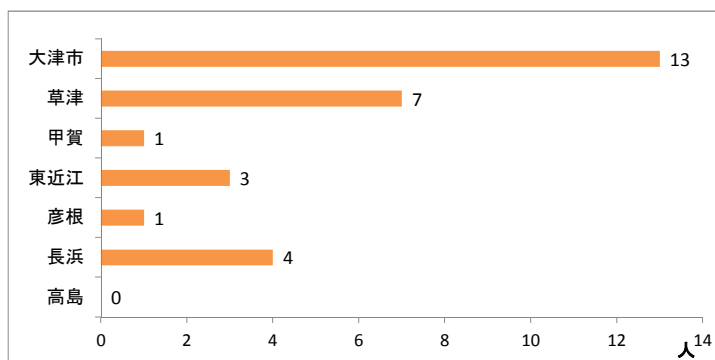
(平成25年第1週～第18週)



#### ③ 風しんの週別・性別の報告数(平成25年第1週～第18週、2013.12.31～2013.5.5)

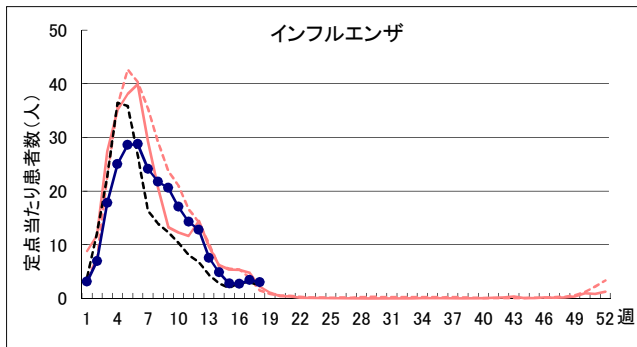


#### ④ 風しんの保健所別の報告数(平成25年第1週～第18週、2013.12.31～2013.5.5)

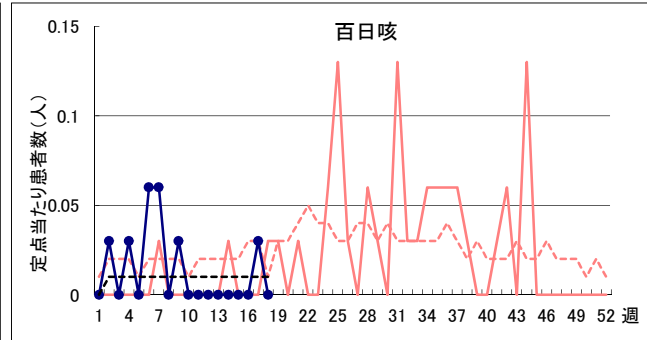
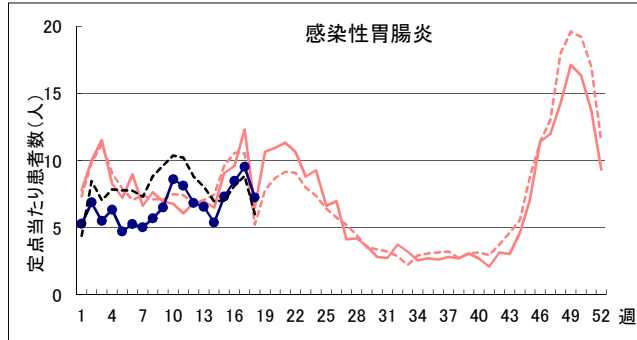
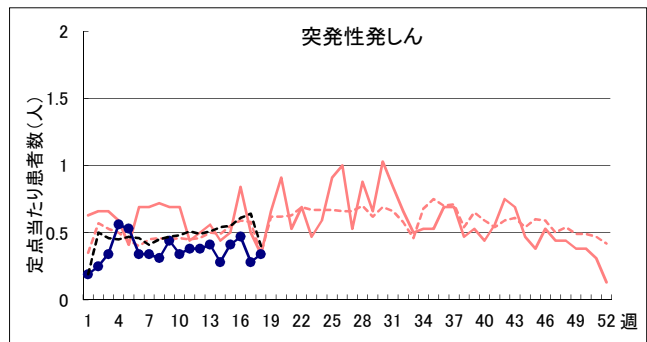
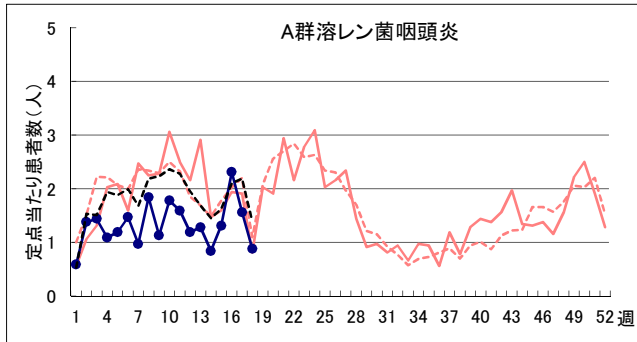
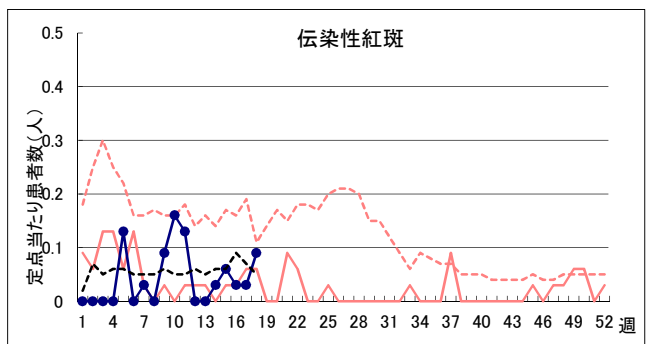
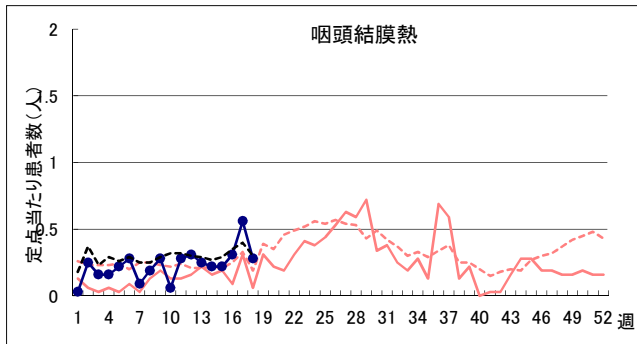
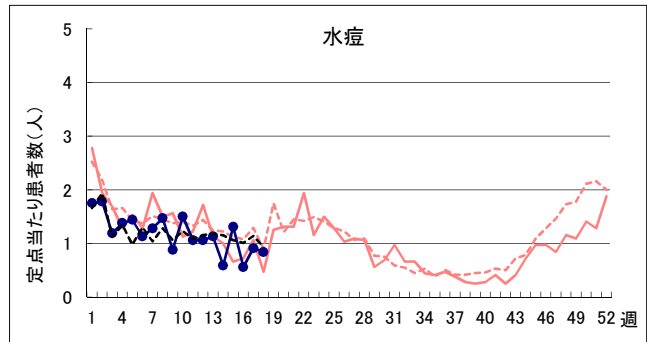
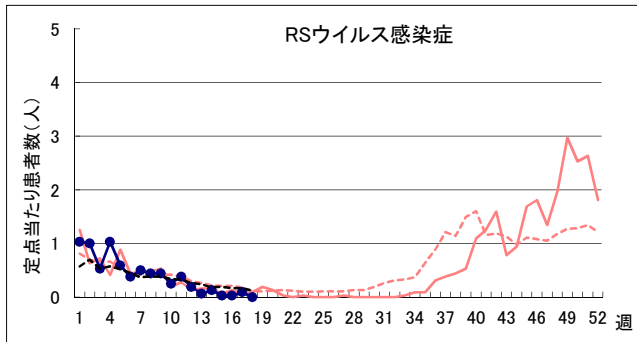


# 疾病別定点当たり患者数

(平成25年第18週、H24.12.31～H25.5.5)



H24 [ 滋賀 (solid red line)  
全国 (dotted red line)  
H25 [ 滋賀 (solid blue line with dots)  
全国 (dotted blue line with dots)



# 疾病別定点当たり患者数

(平成25年第18週、H24.12.31~H25.5.5)

H24 [ 滋賀 ———— 全国 ..... ] H25 [ 滋賀 ●●●● 全国 ..... ]

